
しまね農業担い手応援マガジン

2011・7・4（第41号）

- 目次
1. リレー随想
 2. ニュースの玉手箱
 - (1) 県内の認定農業者数が確定しました
 3. 今月の告知板
 - (1) 農業経営管理向上研修会の開催
 - (2) 集落営農組織化塾の開催
 - (3) 島根県UIターン推進研修会の開催
 4. イベント報告
 - (1) 県立農業大学校就農ガイダンスを開催しました
 5. 農業経営お役立ちツール
 6. 集落え～の～日記 VOL.3

1. リレー随想

今年は3年に1度の農業委員の統一改選の年であり、県内に12ある任期満了を迎える農業委員会にて、新しい委員が選ばれることになっている。

この改選にて選ばれた認定農業者・農業法人・集落営農組織の代表等の地域のリーダーには、地域農業の活性化に向け尽力していただきたいと思う。

農業委員の仕事は、農地パトロール等による遊休農地の発生防止・解消を始め、認定農業者の掘り起こしと再認定への支援、農業者への情報提供など幅広く、担い手育成にも関わりが大きい。

現在、農業委員に占める女性の数は少ないが、上記のような活動を地域で積極的に推進するには女性の活躍が欠かせない。各農業委員会においては女性農業委員の増加と女性の声を聴くことのできる場の確保に努めていただきたい。

（農業会議：五明田）

2. ニュースの玉手箱

(1) 県内の認定農業者数が確定しました

平成23年3月末時点での認定農業者数は下記のとおりで、前年の調査より33経営体の減少となりました。

この要因としては、農業者の高齢化や認定農業者のメリットが分かりにくいこと等が挙げられます。このため島根県担い手協議会では今年度、認定農業者の実態把握・フォローアップ等の取り組みを強化することとしています。

島根県内の認定農業者数：1,216 経営体（H22年3月より33経営体減）

うち個人経営体：996 経営体（同55経営体減）

法人経営体：220 経営体（同22経営体増）

（農業経営課：岩成）

3. 今月の告知板

(1) 農業経営管理向上研修会の開催

近年の農業分野における状況変化に的確に対応し、一層の経営安定と地域農業の担い手としての経営管理能力の向上に資するため、下記のとおり研修会を開催します。

主催：島根県農業法人協会・しまねアグリヤングクラブ・島根県農業会議

日時：平成23年7月6日（水） 15：00～16：30

会場：ニューウェルシティ出雲（出雲市塩冶有原町）

講演：演題 「農業の国際情勢と日本農業・地域農業の進む道」

講師 柴田 明夫 丸紅経済研究所代表

【問い合わせ先】農業会議 小塚（0852-22-4471）まで。

（農業会議：小塚）

（2）集落営農組織化塾の開催

担い手不在地域を解消するためには、新たな組織設立が有効な手段ですが、自力での組織化が困難な集落も多くあります。そこで、集落内外の担い手によるサポート体制を構築し近隣集落を支援している経営体や、中山間地域等直接支払制度を広域でサポートする体制など先進的な取り組み事例を学び、担い手不在地域解消の一助となる研修会を開催します。

本組織化塾は集落営農組織や農業法人、中山間直払協定集落や組織化を検討中の集落などを対象としています。

サポート経営体とは...

自力では地域内の農地を守ることができない集落に対し、サポート協定を締結し、利用権設定や作業受託等により農地の維持に取り組む経営体

日時：平成23年7月15日（金）13：30～16：30

会場：あすてらすホール（大田市大田町）

内容：事例報告

- ・隣接集落をサポートしている特定農業法人の事例
- ・作業の再委託による広域的営農体制の検討事例
- ・中山間地域等直接支払協定の広域化によるサポート事例

パネルディスカッション

（中央会：遠藤）

（3）島根県UIターン推進研修会の開催

UIターンの推進にあたり、UIターン推進の現状や課題の共有をし、相互の連携強化を図ること等を目的に下記のとおり研修会を開催します。

本県で推進している「半農半X」の取り組みについて、提唱者である塩見氏をお招きし、ご講演いただき、意見交換等も行うこととしております。

日時：平成23年7月14日～15日

会場：島根県民会館2階多目的ホール

内容：7月14日（木）14～17時

講演「半農半Xという生き方」～小さな農と天職と～

講師：半農半X研修所 代表 塩見直記氏

意見交換（県、市町村における「農業+」の取り組み状況等）

7月15日（金）9～12時

意見交換（定住関係事業の取り組み状況、グループ討議等）

平成23年度における取り組み・説明事項

（農業経営課：篠原）

4. イベント報告

(1) 県立農業大学校就農ガイダンスを開催しました

6月15日(水)に開催しました「農業大学校就農ガイダンス」では、各地域担い手協議会、しまね農業振興公社、各普及部の皆さんにご協力いただき、ありがとうございました。

今後、学生・研修生の就農希望等の情報を各地域担い手協議会へ提供し、地域とのマッチングを進めていきたいと考えていますので、引き続きご協力をお願いします。

昨年度は、このような取り組みから、2名が就農及び就職に至ることができました。今年度はより多くの学生が就農・就職できるように、各地域との意見交換や情報共有等の連携を図っていききたいと思います。

(農業経営課：岡田)

5. 農業経営お役立ちツール

1回目のツール「営農計画作成支援シート Ver.2」は、認定就農者等が営農収支計画を作成するためのツールです。

収支計画は作目毎の10a当り収支に面積を乗じて作成しますが、減価償却や借入金の償還などの計算も必要となり5ヶ年間の資料を作成するには手間がかかるものです。

そこでエクセルを使い簡単に試算ができるように作成したのがこのツールです。経営指導指針(赤本)のデータが登録してあるので、栽培作目を選択して機械施設装備、面積、労働力等を入力するだけで、5ヶ年間の収支や資金繰表を作成することができます。

経営形態別に個人事業者版、普通法人版、農事組合法人版、畜産経営個人版バージョンを用意してありますので是非ご活用ください。

<http://www.pref.shimane.lg.jp/nogyogijyutsu/gijyutsu/genti-jirei/jirei-menu/menu10a.data/10053nou005.pdf>

【問い合わせ先】農業技術センター技術普及部 永瀬(0853-22-6941)まで。

(農業技術センター：永瀬)

6. 集落え～の～日記 VOL.3

「感謝と挑戦～自然に感謝し、心豊かな集落と夢のある農業を目指して～」
農事組合法人星ヶ丘(邑南町)

「感謝と挑戦」、現場のE普及員さんから聞いていたこの法人理念に惹かれ、今月は、邑南町の星ヶ丘を訪問した。

星ヶ丘は、世帯数26戸、人口66人、高齢化率50%にも及ぶ中山間地域の集落(農地面積約10ha)を基盤に平成19年に法人化した組織である。もともと転作田で野菜づくりをする任意の営農組合が母体となっており、水稻の他に、白ネギ、ナス、原木椎茸、切り花等を栽培している。

設立当初から米以外の作物の売り上げが大きいのが、この法人の特徴であるが、もう一つ大きな特徴は、組合員の家族を含め、87歳のおじいちゃんから20代独身女性まで集落内の全世代からの出役があり、全員参加型の法人経営をしている点である。

また、当初3人の専従者体制が現在は5人となり、「当面、労働力の点では心配ない」とのことであった。

「法人があることで、一緒にやろうという雰囲気が集落全体に広がった。20代・30代の若い人が作業にでてくれることが嬉しいし、野菜の選別作業にはおばあちゃん達が集まり賑やかにしている」と笑顔で語っていただいたのは、組合長の三上さん。

法人の人材確保・育成については、「今は、集落内で定年退職が近い人や組合員の家族を巻き込んでいる」と事務局長の富永さん。

今年は、ビニールハウスを増設し、30代の女性（組合員の息子の奥さん）が専属でトルコギキョウに挑戦する計画だ。「勢いですかね。この女性もやる気があるし、法人組織なら新たな投資もし易い」と富永さんがサラッと語った。

集落内の様々な世代の人たちの活躍の場づくりが、無理なく自然なかたちで創られており、この法人の理念が着実に集落全体に広がっていることを実感しました。

（農業技術センター：今井）

7. 編集後記

蒸し暑い日々が続いていますね。先日、久しぶりに益田市のアムスメロンを食べたところ、あまりの美味しさと気温の暑さから、贅沢にも1日で一人で半玉食べてしまいました。

（農業経営課：M・I）

「しまね農業担い手応援マガジン」第41号 2011/7/4発行
配信先追加又は配信停止をご希望される方は、下記に連絡をお願いします。
また、感想等についても遠慮なくお寄せ下さい。もちろん投稿も大歓迎です。

編集スタッフ

遠藤（JA島根中央会営農地域対策部）

山根（島根県農業会議）

陶山・岩成（島根県農林水産部農業経営課担い手育成グループ）

送信担当

Eメール：JA島根中央会営農地域対策部 遠藤彰一

E-mail：noushin.jsc@ja-shimane.gr.jp

電話：(0852)31-3515 FAX：(0852)32-2065

島根県農林水産部農業経営課担い手育成グループ 岩成美雪

E-mail：iwanari-miyuki@pref.shimane.lg.jp

電話：(0852)22-5395 FAX：(0852)22-5968

郵送・FAX：〒690-0887 島根県松江市殿町19-1

JA島根中央会営農地域対策部